

「人にやさしいデジタルガバメント」の実現方法

山田晴香

わとな株式会社 代表取締役

青森公立大学経営経済学部地域みらい学科 4年

山田晴香（やまだはるか）

1999年生まれ、青森県青森市出身。

現在、青森公立大学経営経済学部地域みらい学科4年生。

3年生の令和2年11月6日にわとな株式会社を設立。

わとな株式会社

「インターネットで地域を元気に」をキャッチコピーに、同ゼミ生3人で起業

事業内容：webメディア「Locoty青森」の運営・Web制作・動画撮影、
編集・SNS運営（青森市役所と協業し動画配信） 等

（設立の準備（ハンコの位置や紙書類の準備など）は大変苦労しました。）



Locoty青森

青森の情報を詰め込んだ「ポータルサイト」ー今後は地方Webメディアが鍵



市長への表敬訪問の様子

Locoty神栖・鹿行協力のもと、令和3年4月にオープンし7月にリニューアル。

SEOを引き継がず、9月の段階で1ヶ月あたりのPVが12,000を達成。

聞く・行く・読む・調べる・食べるをテーマに、五感で青森を楽しめるポータルサイトを運営。主に、自分たちで考えたコラムを配信。

青森市小野寺市長や、地元の老舗洋菓子など地域のリーダーのインタビュー記事も掲載。

掲載メディア

デイリー東北新聞・東奥日報・朝日新聞・産経新聞…その他、ローカルラジオ番組、ニュース番組

青森の現状と立ち位置

- ・ 青森市と仕事をして感じたこと—FAXがないと不審がられる
 - ・ 業務委託の返信がFAX
 - ・ 必ず電話か直接会ってのやりとり
 - ・ 見積書さえも原本
- ・ インターネットの利用率は青森県が45%で全国最下位

次のグラフがその結果だが、全体では63.3%、最高値は東京都の74.4%、最低値は青森県の45.4%。29.0%ポイント・1.64倍もの差が出ている。



2020年も相変わらず、全国最下位。
地方 = 高齢者が多いのが理由。
県内に100歳以上の方が約800人いる。

トップは東京都の74.4%...都道府県別スマートフォン利用率をさぐる(2020年公開版)
(<https://news.yahoo.co.jp/byline/fuwaraizo/20200709-00186457>) より

・ 大学生活では

全館にWi-Fiがあるわけではない。

オンライン授業はもってのほか。

・ 会社設立では

書類作成はオンラインツールを使用。

大量な紙の印刷と、大量の押印。

人にやさしい＝誰ひとり取り残さない だけど地方（特に青森）は取り残されがち

地域によって人口問題やインターネット利用率などの格差がある。しかし、デジタル改革において格差があってはならない。そのためには、県が国が…ではなく、自治体が大切。

マイナンバーカードの普及率

石川県加賀市は、マイナンバーカードの普及率が65%を占め、全国一位。しかし県ベースのランキングだと石川県は14位。



石川県加賀市の取り組み

マイナンバーカードを申請した方に対して、マイナポイントの他に、市内で使用できる「かが応援商品券」を配布した。

アナログ（紙媒体のモノの配布）と同時に行うことで、DX移行がうまくいきやすい

ふるさとクリック 地図で見るマイナカード普及率
(<https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/regional-regeneration/mynacard-grant-rate-map/#17206>) より

EOF



Locoty青森